

火災危険性を有するおそれのある物質の調査結果

1 第一次候補物質の抽出結果

各調査で該当した物質のうち、以下の物質を除いて抽出した。

- ・性状等から危険物に該当し、かつ他の類の性質を有しないと考えられる物質
- ・性状等から明らかに火災危険性がないと考えられる物質
- ・常温では気体であるため消防法の危険物に該当しない物質

調査種別	調査対象	調査該当物質	第一次候補物質
事件事例調査	各種データベース等	4 物質該当	なし
	調査会社提案文献	1 物質該当	なし
文献調査	一般化学物質の製造・輸入数量 (平成 25 年実績)	168 物質該当	3 物質該当
	国連勧告書	該当なし	なし
	1 6 6 1 5 の化学商品	32 物質該当	3 物質該当
	I A T A 規則書	該当なし	なし
	G H S	今回対象外	
再調査	平成 26 年度までの調査で抽出されていたが確認試験を実施していなかった物質	11 物質該当	11 物質

※調査の結果、第一次候補物質として 17 物質が抽出された。

2 第二次候補物質の選定結果

第一次候補物質として抽出された 17 物質について、用途及び流通状況により 1 ～ 5 グループに分類・選定した。

分 類	選定物質数
① 火災・爆発事故に関与した可能性のある物質	0 物質
② 製造・輸入量 100 t / 年以上の物質	5 物質
③ 製造・輸入量 100 t / 年未満の物質	3 物質 (※1)
④ 用途のみが把握できた物質	3 物質 (※2)
⑤ 用途及び流通量が把握できない物質	6 物質 (※3)

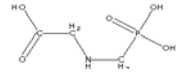
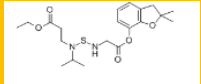
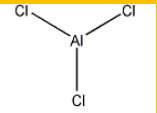
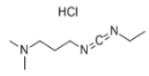
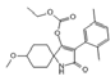
(※1) 3 物品すべてが再調査物質

(※2) 2 物品が再調査物質

(※3) 6 物品すべてが再調査物質

「第二次候補物質」の選定(3物質)

資料Ⅱ－2

No.	二次候補物質としての適正	物質名等					物質の状態	用途	流通量等		選考根拠(関連事故、予想される危険性等)	現行法	二次候補物質の分類(※1)
		物質名(IUPAC)	一般名称	CASNo.	化学構造式(Mw)	分子量			年間生産量(t/year)	輸入量(t/year)			
1	○	ケイ化カルシウム	カルシウムシリコン	12013-56-8 12013-55-7	CaSi2/CaSi	96.25/ 68.17	粉体 水反応可燃性物質	-	300	-	国連番号 1405 可燃性物質類 水反応可燃性物質	化審法: (1)-1044 安衛法:	②
2	△	N-(ホスホノメチル)-グリシン	グリホサート	1071-83-6	分子式: C3H8NO5P 	169.1	白色結晶 融点: 200℃ 加熱すると有毒なヒュームが発生。鉄、鋼を侵す。	農薬(除草剤)	400	-	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。	化審法 安衛法	②
3	○	2, 2-ジメチル-2, 3-ジヒドロ-1-ベンゾフラン-7-イル=N-[N-[2-(エトキシカルボニル)エチル]-N-イソプロピルスルフェナモイル]-N-メチルカルバマート	ベンフラカルブ	82560-54-11	分子式: C20H30N2O5S 	410.53	融点: <25℃ 引火点: 100℃ 貯蔵温度: 0.6℃	-	200	-	低温保存中は固体であるが、常温が融点近傍である。液体は引火点が100℃なので、注意を要する。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 蒸気が空気と爆発性混合気をつくるおそれがある: 屋内、屋外又は下水溝で爆発の危険がある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある	化審法 安衛法	②
4	○	三塩化アルミニウム	塩化アルミニウム(無水物)	7446-70-0		133.34	固体、黄色または灰白色 融点190℃ (@253.3kPa) 空気中で発煙し、塩化水素ガスを放出する。塩酸臭をもつ。水と反応して多量の熱を発生する。 潮解性があるので気密にて保存する。	石油精製クラッキング触媒、農薬、医薬品	2013年 約9,000t	35t	不燃性であり、それ自身は燃えない。 加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 空気中の水分によって腐食性の蒸気を放出する。水と激しく反応して、熱および白色で煙霧状の刺激性かつ腐食性を有する塩化水素ガスを放出する。水の存在下においては大部分の金属を腐食する。	-	②
5	△	1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチルカルボジイミド塩酸塩	1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチルカルボジイミド塩酸塩	25952-53-8		191.71	結晶性粉末、白色 融点108℃以上 水に可溶、アルコール、DMFに可溶	脱水縮合剤	-	4,243t	燃焼生成ガスは毒性を有する窒素酸化物、炭素酸化物を含む。皮膚や目に触れた場合、火傷の危険がある。多量の水で洗浄すること。	-	②
6	△	スピロテトラマト	モベント	203313-25-1		373.45	粉末、淡いベージュ 融点142℃	殺虫剤	-	-	消火剤: 水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など 特有の危険有害性: 燃焼時には有毒ガス発生のおそれがある。	-	④

(※1)
①火災・爆発事故に関与した可能性のある化学物質
②製造・輸入量100t／年以上の化学物質
③製造・輸入量100t／年未満の化学物質
④用途のみが把握できた化学物質
⑤用途及び流通量が把握できない化学物質